

🎵 キリスト教礼拝音楽学会第一回大会 🎵

— 終了 —



記

— 日 時 —

2001年5月26日(土) 午前10時半～午後5時

— 会 場 —

青山学院短期大学礼拝堂[渋谷区渋谷4-4-25]
(JR山手線・東急線・京王井の頭線「渋谷駅」より徒歩10分、地下鉄「表参道駅」より徒歩5分)

— 参加費 —

参加登録費：会員-3000円 / 非会員-4000円
懇親会費：一律5000円

— プログラム —

🎵 基調講演 🎵

「礼拝音楽学の今日—欧米諸国の動向を中心として」

by ロビン・リーバー

The Revd. Dr. Robin A. Leaver—英国出身。神学博士。米国ウェストミンスター合唱大学(Westminster Choir College)教会音楽、合唱指揮、オルガン演奏部門主任教授、同時にドゥルー大学(Drew University)礼拝学博士課程にて、礼拝音楽学、及び宗教改革礼拝史、等を講ずる。米国バツハ協会、及び米国チャールズ・ウェスレー協会会長。元・国際讃美学会会長。双書Studies in Liturgical Musicology、Drew University Studies in Liturgyの編集者。Die Religion in Geschichte und Gegenwart[第四版]の音楽項目の編集責任、New Grove Dictionary of Music and Musicians(1980/2001)、Hymnal 1982 Companion(1990-94)、The Oxford Encyclopedia of the Reformation(1996)、等の辞典・レファレンス類にも多数執筆。音楽学、神学、礼拝学、賛美歌学全般に渡る、豊富な文献学的知識に基づき、「バツハと神学」「16世紀の礼拝と音楽」「英語圏讃美歌史」「現代英語圏の讃美歌学」等の主題に関する、25以上の著作、200以上の論文・書評がある。主著、Bachs theologische Bibliothek (1983)、J.S. Bach and Scripture(1985)、The Theological Character of Music in Worship(1989)、“Goostly psalmes and spirituall songs”: English and Dutch Metrical Psalters from Coverdale to Utenhove 1535-1566(1991)、Come to the Feast: The Original and Translated Hymns of Martin H. Franzman(1994)、Liturgy and Music: Lifetime Learning[共編](1998)、等。また、Episcopal Hymnal 1982(1985)、The United Methodist Hymnal(1989)、Evangelisches Gesangbuch(1993)、Moravian Book of Worship(1995)、等の編纂にも関わる。
[邦訳論文] [英文プロフィール]。

🎵 研究礼拝 🎵

[仮題]「伝統的要素の利用」
[コーディネーター: 水野隆一]

🎵 研究発表 🎵

「讃美歌と和声、そして奏楽」
[藤森美究]

「同朋学園大学部附属図書館所蔵
“Lettera annale delle cose del Giappone del M.D.LXXXII”(Roma,1585) の資料研究」
[佐々木勉]

「使徒憲章(Constitutiones apostolorum)—アナフォラの源流を求めて」
[尾田泰彦]

「使徒憲章—成立史と研究史を中心として」
[井上義]

「オラトリオのドラマ性の問題—F.ロホリッツとL.シュポーアの議論を中心に」
[瀬尾文子]

🎵 キリスト教礼拝音楽学会第一回定期総会 🎵

🎵 懇 親 会 🎵

午後5時半より 青学会館2Fにて(自由参加)